

みなさまに**安心**と**安全**を
環境保全と**意匠性**に優れた工法

タイル張り用 GNSピンネット工法

「剥離・落下防止」＋「環境保全・長寿命」

タイル張り用GNSピンネット工法とは

平成元年より実績のあるGNSピンネット工法に、弾性接着剤によるタイル張りが可能となった工法です。

外壁落下防止対策の「GNSピンネット工法」で使用する材料の特長

「GNSネット」 → **長期耐久性と強い引張強度！**

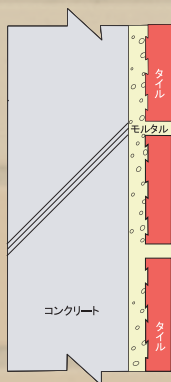
「GNSアンカー」 → **ステンレス製のため錆ず、安定した引張強度！**

「GNSフィラーP」 → **一材化で環境に優しく、付着強度は基準値の4倍以上！**

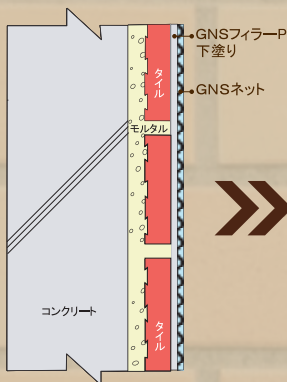
GNSピンネット工法の施工物件は20年以上経っても強度を維持し、お客様から高い評価を得ています。

GNS タイルonタイル

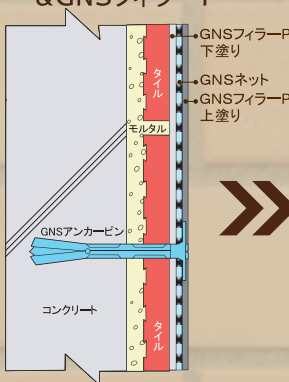
①施工前



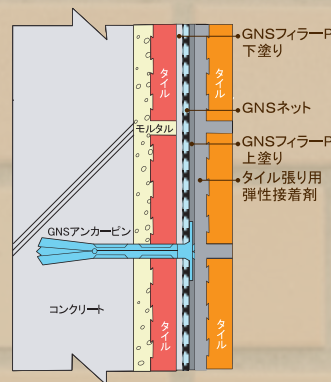
②GNSネット張り



③GNSアンカーピン
&GNSフィラーP

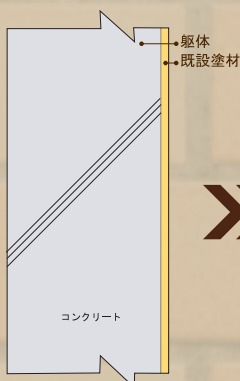


④仕上用タイル張り

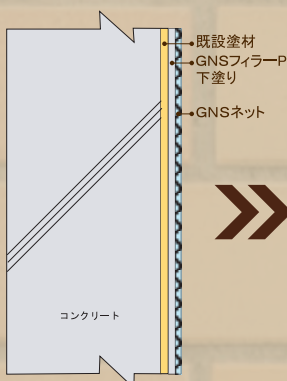


GNS 塗材onタイル

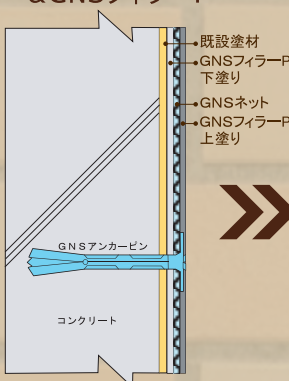
①施工前



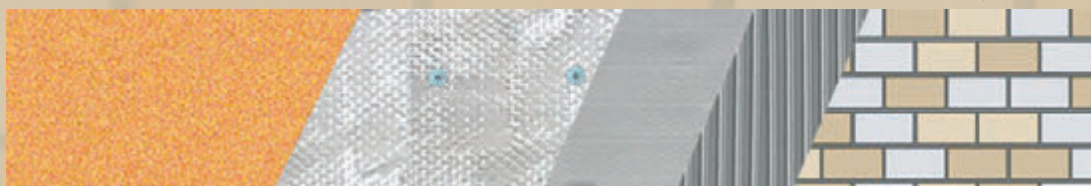
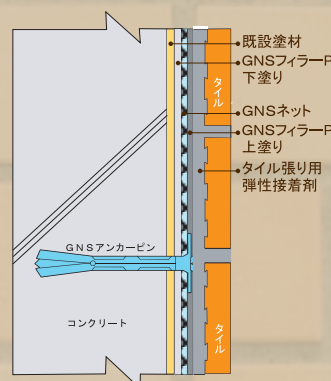
②GNSネット張り



③GNSアンカーピン
&GNSフィラーP

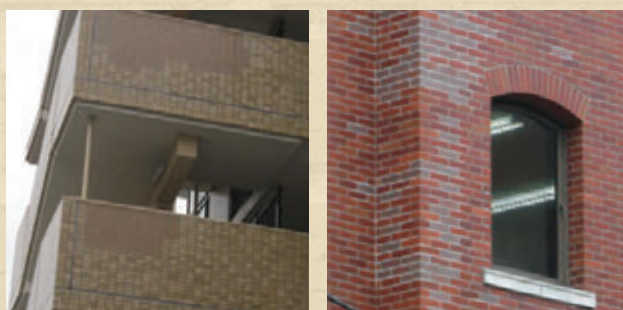


④仕上用タイル張り



タイル部分張替えでは問題がある

- 1 タイルの色が合わない。
- 2 張替え部以外の劣化は進行している。
- 3 張替え時に騒音・埃が大量発生。
- 4 部分補修の保証は施工部だけ。
- 5 10年後には定期建物調査が必要。
(建築基準法第12条)



使用材料



GNSプライマー



GNSフィラーP
(一材化品)



GNSネット



GNSアンカーピン



弾性接着剤
(タイルワン)

タイル張り用GNSピンネット工法の手順

施工前



二丁掛タイル

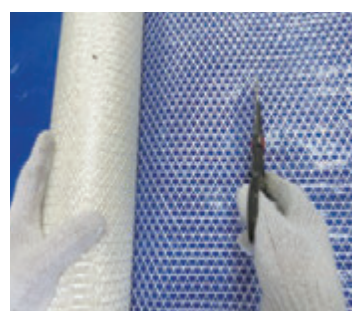


吹付塗装

GNSネットを
GNSフィラーPで下塗り



GNSネットを
カット



GNSアンカーピン打ち込み
GNSフィラーPを上塗り



GNSアンカーピンを
1.5ポンドのハンマーで打ち込む



弾性接着剤
塗付け



弾性接着剤を
クシ鏝にて施工



新規タイル
貼付け



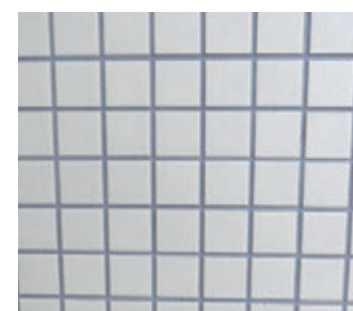
タイル
目地埋め



施工完了
50二丁タイル



施工完了
50角タイル



弾性接着剤によるタイル張りの利点

- 1 **弾力性（伸縮性）のある接着剤** を用いてタイル張りを行うことで
接着界面に発生する応力を低減でき、
タイル剥落防止性能や耐震安全性に優れている。
- 2 現場で **水の練り混ぜが不要**。安定した材料品質を確保。
- 3 **ドライアウトの懸念が無い**。
- 4 接着剤が防水性能を有するため、**外壁の防水性が向上**。
- 5 **JASS 19 陶磁器質タイル張り** 工事標準仕様書に掲載されている。
- 6 **国土交通省 建築工事監理指針** に掲載されている。



モルタル張り

下地の変形に
モルタルが
追従しない

弾性接着剤張り

下地の変形に
弾性接着剤が
追従する

GNSピンネット 施工後20年経過物件実態調査

全国ビルリフォーム工事業協同組合技術委員会では、施工後の実態調査を定期的
に実施しております。日本建築仕上学会学術講演会にて施工後20年経過した物件の
調査結果を発表しました。



試験状況



GNSアンカーピン引張試験



GNSネット抜き取り



GNSフィラー付着力試験



現場全景 (千葉県某物件)

- ・ GNSネットの破断強度は20本の平均が105Nで未使用品と比べて同等でした。
- ・ GNSアンカーピンは検査した20箇所全てにおいて抜けが無く引張り強度は1500N以上でした。
- ・ GNSフィラーの付着強度は20箇所の平均が1.76N/mm²で確認基準強度の4倍以上でした。

外壁タイル仕上げ、モルタル仕上の剥落防止工法として平成2年から20年以上の
実績があり、保全技術・技術審査証明書と建設技術評価証明書を取得し、独立行
政法人都市再生機構の外壁複合改修工法品質判定基準に合格している外壁落下
防止工法として施工性・機能性に優れた工法です。



建設技術審査証明書
(BJC一審査証明-43)



建設技術評価証明書
(第96107号)



UR都市機構試験成績書

タイル張り用GNSピンネット工法の特長



外壁は落ちる危険にさらされています！



違いがわかるGNSピンネット工法！



建築基準法第12条が平成20年4月に改訂され、建物の定期調査報告制度が義務化されました。(10年以上経過した建築物は、外壁を全面打診調査することになっております。)

JBR 全国ビルリフォーム工事業協同組合
 〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 6F
 TEL.03-3454-4371 FAX.03-3454-4377
 E-mail:otoiawase-jbr@jbr-gns.com
 URL:http://www.jbr-gns.com